

ITCイースト東京
分科会2
2022年度活動
ご報告

2022年8月17日

ITCイースト東京
分科会2

分科会 2 活動目的、活動内容

1. 活動目的

会員交流・会員ネットワーク構築

2. 活動内容

- ・月例勉強会の実施（実践力ポイント蓄積）
- ・分科会 2 主催セミナーおよびITCイースト東京セミナーにて発表

分科会 2 活動内容

ITCイースト東京 分科会2 2022年度第1回勉強会&交流会

7月21日 江東区産業会館

【勉強会】 18:30～20:00 (1.5時間)

講師：(株)テックキューブ 代表取締役 浅井 治
(分科会2メンバ/ITC)



タイトル : 受講者の心をつかむ5分

～「場BOK®」 : 場創りの知識体系

(テックキューブ社の登録商標) ～

-場BOKで人生を変えましょう！

-場BOKの神髄を知る勉強会

-行動心理学で、脳みそに刺さるプレゼン

【交流会】 20:00～21:30 (1.5時間)

講師と受講者、および受講者同志の交流会を実施



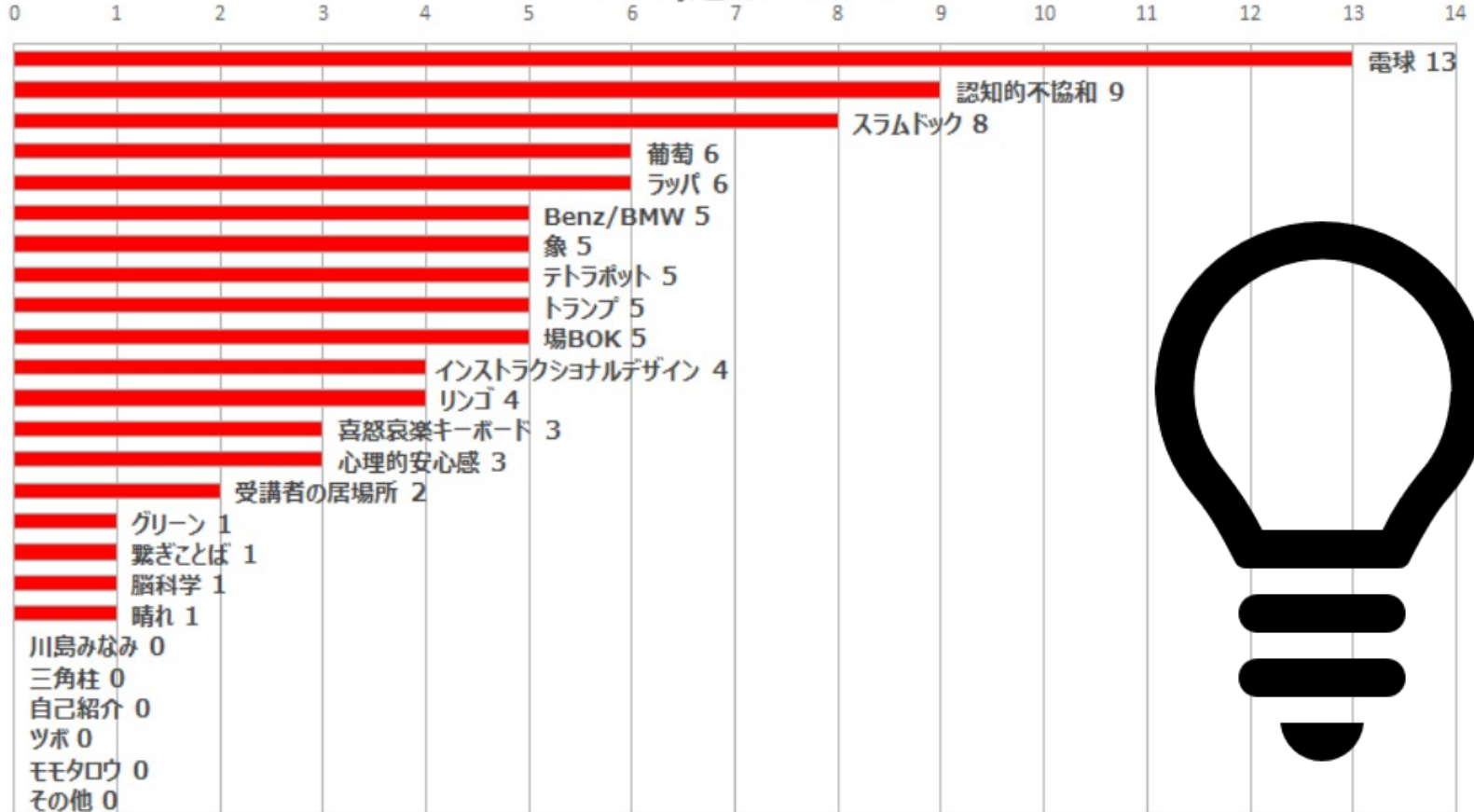
分科会 2 7月21日 活動イメージ



分科会 2 7月21日アンケート結果

今回のセミナーのテーマは「記憶を定着」であった。
セミナー直後の記憶定着率をアンケートにて集計した。
その結果、プレゼンのやり方により、記憶定着が促進できることが確認できた。

記憶定着

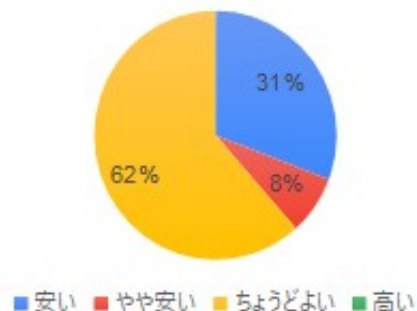


分科会 2 7月21日アンケート結果

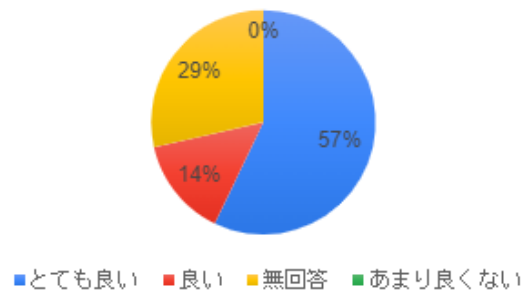
Q1. セミナー全般満足度



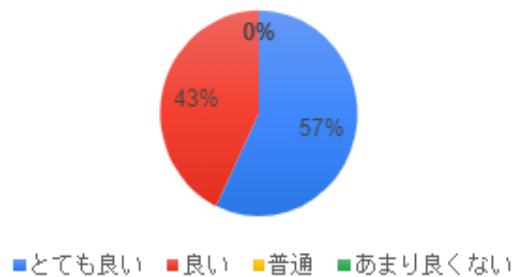
Q6. 勉強会費 (¥1000) はいかがでしたか



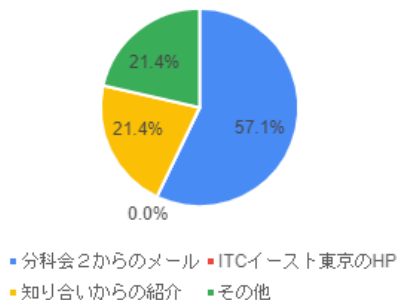
Q1-2.交流会について



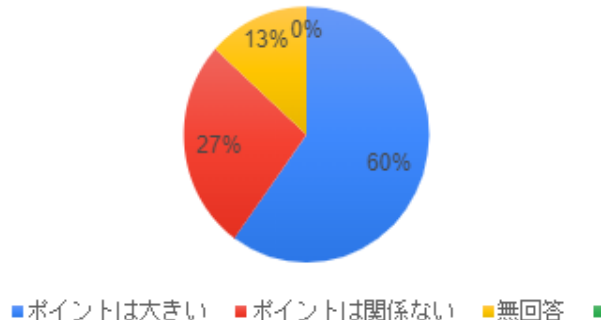
Q7.本企画・運営について



Q2.今回の勉強会をどこで知りましたか？



Q8.知識ポイントが付与されることについて



講師からの紹介、メンバーなので、説明会

分科会 2 活動の成果と評価、今後への課題

- ・ 講演テーマが「コミュニケーションの場創り」であったため、あえて**リアル開催**にこだわった。3年ぶりのリアル開催であり、過去の知識・経験を寄せ集めなどメンバーの協力のもとで勉強会 & 交流会が開催できた。
- ・ コロナ禍で人集めが難しい中、**15名が参加**された(定員20名)。
- ・ 受講者アンケート結果では、**場BOK®**という場創りのメソッドについて知りたい方8名、受講者の心をつかむプレゼンテーションについて学びたい方10名であった。講演内容に興味を持っていただけ、鹿児島県、長野県から参加があった。
- ・ 分科会 2・4 説明会から様子見で参加された方を含め**2名が新規メンバー**を希望。
- ・ 受講者アンケート結果では、受講した満足度および本企画・運営に関して、**とても良い&良いが100%**であり、講演内容とともにリアル開催は高評価であった。
- ・ 以上から、分科会2の目的である「会員交流、会員間のネットワーク構築」を達成できた活動であったと評価する。

【参考】分科会2の活動状況

★分科会2メンバ自主勉強会

分科会2メンバー26名
(独立系9名、企業内17名)

回	開催日	テーマ	人数	場所
1	2022. 4. 14	「SDGsと事業」について	12名	リアル&ZOOM
2	2022. 5. 26	SDGs事例(稲葉講師)、場BOK(浅井講師)について	12名	リアル&ZOOM
3	2022. 6. 22	SDGs事例発表、会員交流イベント検討	11名	リアル&ZOOM
4	2022. 7. 21	第1回ITC向け勉強会&交流会	15名	江東区産業会館
5	2022. 8. 17	中小企業SDGs達成のDX事例考察	12名	リアル&ZOOM
6	2022. 9. 15	中小企業SDGs達成のDX事例考察	XX名	リアル&ZOOM
7	2022. 10. XX	未定	XX名	リアル&ZOOM
8	2022. 11. 12	大人の遠足(鎌倉)		
9		以降、未定		
10				
11				
12				